

令和5年10月吉日

各 位

鎌掛運営会
むらを良くする会

「運営会・各区活動」等に関するアンケート調査協力をお願い

平素は、運営会に対し格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて近年、全国的に人口減少と少子高齢化が急速に進行しており、地域活動の担い手不足や高齢化、役割の固定化等により、まちづくりの基礎単位となる自治会では様々な課題を抱えておられます。鎌掛地区においても1村1字といえども例外でなく6つの区とも課題が山積していることかと思えます。

鎌掛地区では、現在住民は約690人で、2.2人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率46.1%）となっており、また若者の地元離れも進んでいます。役場資料によると10年後には約520人、2人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率50.1%）、20年後には約380人、1.7人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率58.4%）と推計されています。そうすると役職の選出や会議、様々な行事、イベントへの参加など各区だけでなく運営会そのものにも影響が出てくることは必至であります。

運営会として鎌掛の将来を考え、いつまでも住みたい住み続けたい村を創り上げるため、今年度前区長を中心に中間的な立場で各年代層から広く意見交換を行い、また様々な意見に耳を傾け、課題等を掘り起こす『むらを良くする会』を立ち上げたところであります。

今後は、課題等の解決に向けて、各区で解決する取り組みや区同士の連携の促進、しいては地区住民全体の理解や支援が重要と考えています。

このアンケートは、各区の取り組みの現状と今後の取り組み意向を把握し、運営会として取り組んで行く方法を検討するための基礎データとして活用します。

つきましては、ご多用ところ恐縮ではございますが、ご回答賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

調査の対象 各年代住民全体（18歳以上）

回答期限 令和5年11月5日（日）まで

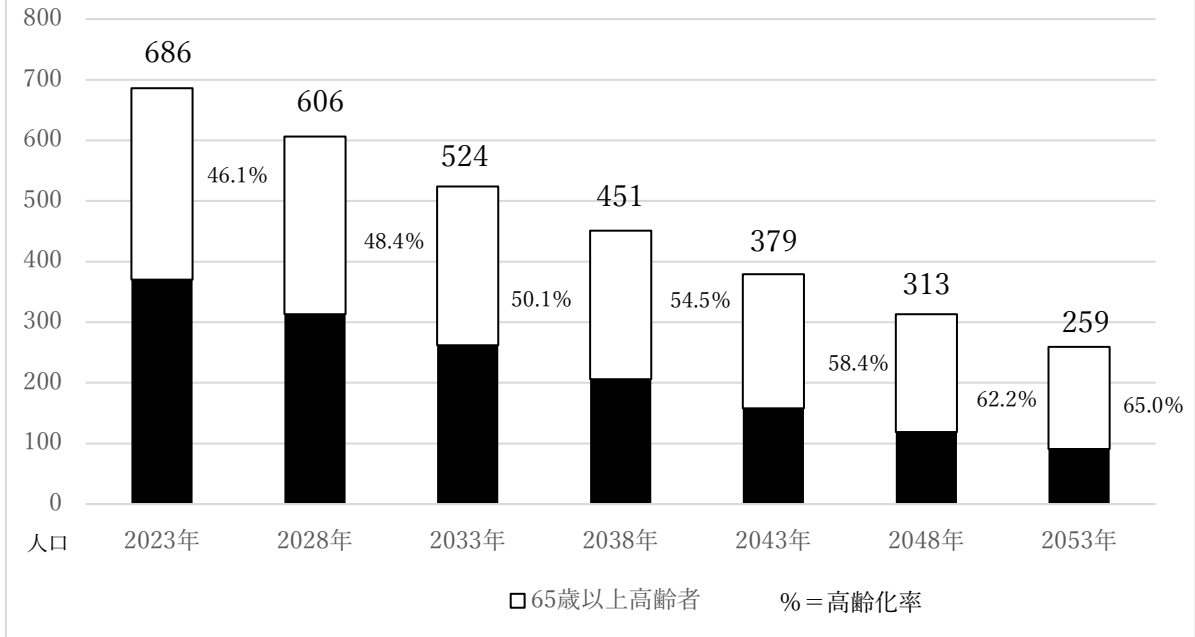
回答方法

・アンケート用紙に記入

各区長が回収後、回答期限後速やかに運営会（かやの会館）まで提出をお願いします。

鎌掛地区の人口推移

データは役場より



□鎌掛地区各種組織と役員数（令和5年9月1日現在）

41組織 349名 ただし、漏れている組織もあると思われます。

□令和5年度 大字鎌掛隣組と軒数

1区	1組	11軒	4区	15組	6軒
	2組	10軒		16組	5軒
	3組	13軒		17組	9軒
	4組	11軒	5区	18組	8軒
	5組	10軒		19組	8軒
2区	6組	6軒		20組	5軒
	7組	7軒		21組	10軒
	8組	8軒		22組	9軒
	9組	7軒	6区	23組	7軒
	10組	8軒		24組	7軒
3区				25組	8軒
	12組	11軒		26組	9軒
	13組	10軒		27組	7軒
	14組	9軒	合計		219軒

□鎌掛地区年齢層別の人口（令和5年） 合計 686名

～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳
13名	22名	24名	25名	29名	14名	19名	27名
～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	～74歳	75歳～
36名	39名	45名	34名	43名	64名	80名	172名

「運営会・各区活動」等に関する
アンケート調査結果

令和6年 2月 1日作成

むらを良くする会

近年、全国的に人口減少と少子高齢化が急速に進行しており、地域活動の担い手不足や高齢化、役割の固定化等により、まちづくりの基礎単位となる自治会では様々な課題を抱えている。鎌掛地区においても1村1字といえども例外でなく6つの区とも課題が山積している。

鎌掛地区住民は、令和5年5月末686人で、2.2人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率46.1%）となっており、また若者の地元離れも進んでいる。役場資料によると10年後には約520人、2人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率50.1%）、20年後には約380人、1.7人に1人が65歳以上高齢者（高齢化率58.4%）と推計されている。そうすると役職の選出や会議、様々な行事、イベントへの参加など各区だけでなく運営会そのものにも影響が出てくることは必至である。

そこで運営会は、鎌掛の将来を考え、いつまでも住みたい住み続けたい村を創り上げるため、令和5年度に前区長を中心に中間的な立場で各年代層から広く意見交換を行い、また様々な意見に耳を傾け、課題等を掘り起こすために『むらを良くする会』を立ち上げた。

『むらを良くする会』は、現在どんな課題があるのか、また鎌掛地区の将来に向けての意見を住民全体から聞くため「運営会・各区活動」等に関するアンケート調査を令和5年10月24日から11月10日にかけて実施した。よって、ここにその調査結果を報告する。

調査対象者は、18歳以上の住民616名とし、アンケートの依頼は各区長から常会でしていただき、各組長等による戸別訪問により回収おこなっていただいた。集計分析は18～19歳以下、20歳代、30歳代などと年齢階層別におこなった。

その結果、回収率は、80.0%と高い数値となった。特に、40歳代50歳代60歳代が高く、鎌掛地区の将来についての思いが強いことが伺える。男女別に見てみると男性80.8%、女性72.5%となっている。性別不詳が22人もいるので、もしすべてが女性とすれば、男女同回収率となる。いずれにしても全体的に鎌掛の将来に関心が高いことが伺え知る結果となった。

年齢層別集計		令和5年5月末人口	
年齢	人口	回収人数	回収率
18～19歳	14	10	71.4%
20歳代	43	33	76.7%
30歳代	46	27	58.7%
40歳代	75	60	80.0%
50歳代	79	66	83.5%
60歳代	107	96	89.7%
70歳以上	252	190	75.4%
不詳	0	11	
合計	616	493	80.0%

※人口数値は役場提供

男女別集計

令和5年5月末人口

男女別人口		回収人数	回収率
男	292	236	80.8%
女	324	235	72.5%
不詳		22	
合計	616	493	80.0%

アンケートの内容は、前段に全国的な流れ、鎌掛地区の現状を説明し、資料は町との行政懇談会でいただいた令和5年5月末人口と将来の人口推移をわかりやすく棒グラフ化し、また現在の鎌掛全体の各種組織数と役員数、隣組と軒数、年齢層別人口を示した。設問内容は、できる限り回答しやすい選択制とし、一部は記入式としてA3の裏表にまとめた形式をとった。質問の中には、運営会組織だけでなく、鎌掛地区にある他組織等活動も含まれた内容となっている。

それでは、順次調査結果を見てみることにする。

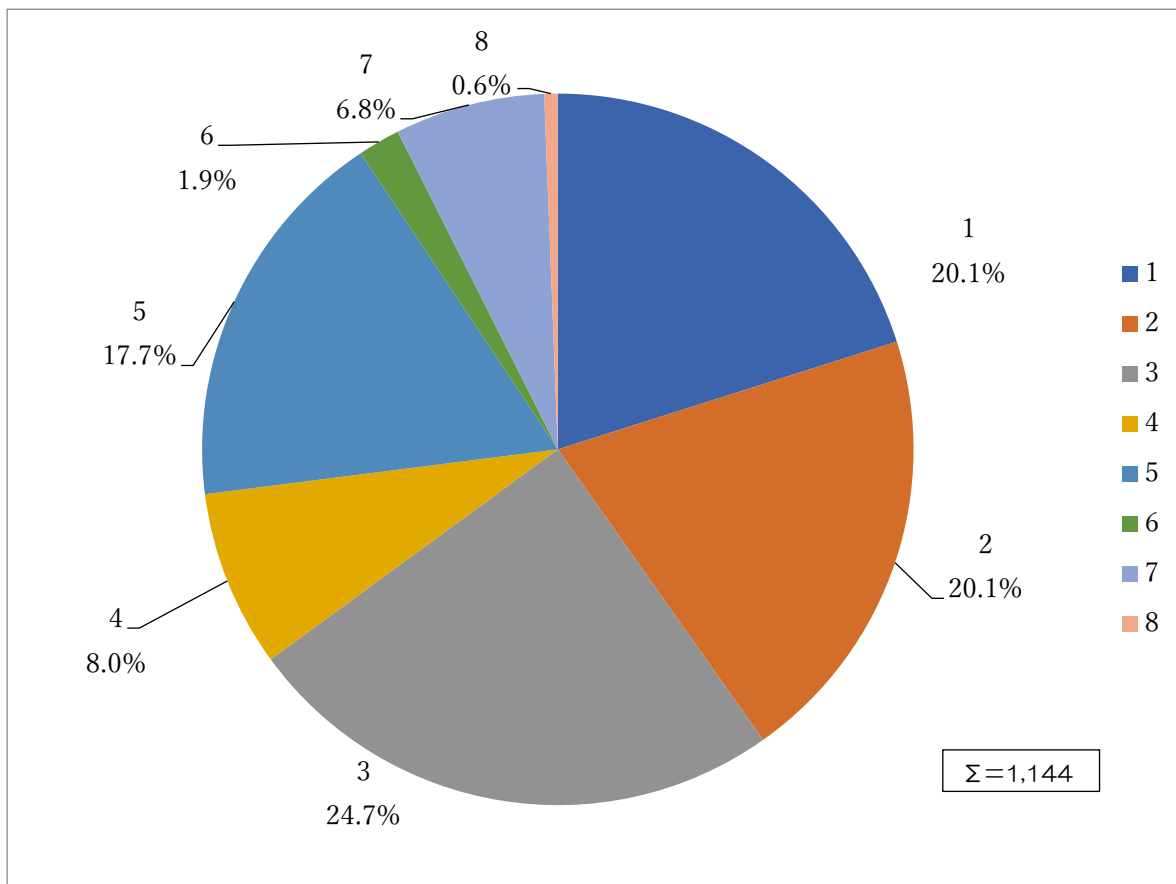
問1. 鎌掛地区や各区内の活動で**最低限必要**と思う取り組みについて、該当をするもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|
| 1. 川掃除 | 9. 防犯・交通安全 | 18. 伝統・文化の継承 |
| 2. ごみステーションの管理 | 10. 交通立ち番 | 19. 納涼祭・文化祭・
運動会等の交流会 |
| 3. 河川愛護（堤防草刈り） | 11. 自主防災活動 | 20. 運営会組織 |
| 4. 各区所有の財産管理 | 12. 消防団活動 | 21. 正法寺の管理 |
| 5. 神社の管理 | 13. 子ども活動 | 22. 森林組合の経営・
維持・管理 |
| 6. 獣害対策 | 14. 女性会活動 | 23. 観光対策 |
| 7. 農業法人・集落営農 | 15. 老人会活動 | 24. 伝統野菜日野菜栽培 |
| 8. 農道、水路など
農業用施設の維持活動 | 16. 敬老会 | 25. () |
| | 17. 人権啓発 | |

この質問は、鎌掛地区にある組織等の活動についてのものである。25番には他の活動もあるのかとの思いで設けた。

数値が高いのは、2. ごみステーションの管理 9.6%、ついで5. 神社の管理 7.4%、1. 川掃除 6.9%、あとは、6. 獣害対策 5.9%、20. 運営会組織 5.6%、21. 正法寺の管理 5.3%、11. 自主防災活動 5.1%、12. 消防団活動 5.1%と続き、8. 農道、水路など農業用施設の維持活動 4.9%、9. 防犯・交通安全 4.9%、7. 農業法人・集落営農 4.5%、19. 納涼祭・文化祭・運動会等の交流会 4.1%と続いている。

25番の意見では、わからない（20歳代）、地区社協（70歳以上）、活動の詳細



この質問は、運営会や各区の活動で今後改善が必要と思われる取り組みについてである。また、空白ランを設けて記入する形をとったが非常に多い意見をもらった。

まず数値が高いのは、3. 活動の省力化、24.7%である。ついで1. 推進体制の見直し・2. 活動内容の見直しが20.1%となっている。

3. 活動の省力化では、圧倒的に字常会の開催回数の軽減である。「メールを活用する。」「必要な時だけ。」「基本2ヶ月1回で必要な時期を設定する。」などの意見が多く、今後早急に検討すべきと思われる。

1. 推進体制の見直しでは、「区、組、の見直し。」関連の意見が多い。「区割りは戸数・人数を平均化。」「区の再編（6区あるのを区2つに合併して3区にする等）」「隣組は10軒以上に。」。また、「役職が多く必要最低限まで減らしてほしい。」などの意見も多い。他には「活動の一部有志化。」などの意見があった。

2. 活動内容の見直しの意見では、「堤防草刈りなど有志で作業出来ることはして手当てを出すなどした方が良い。」「活動内容の廃止。若い人等が減ってきたのでこのままでは無理だと思う。」「昔の活動は見直し・廃止。」「高齢化に伴いできないもの・無くすものなど整理する。」「前例にとらわれず、真に必要な不可欠なものみにしぼり取り組む。」などの意見が多い。

他には、5. 大字経常費や区内費の軽減 17.7%では、「他の字に比べ運営会費は若い世代には高すぎると思う。物価高等もあると思いますが」「高齢者だけの家庭の軽減はよく見えるが若者を出してしまっている家庭であり、人口を減らしている家庭である事を認識してほしい。」という意見もある。「色々な役をしたが、また当たると思うとイヤになる。」という意見もある。4. 役職等への新たな人材の登用 8.0%では、「女

では田舎も危険なことが沢山起こります。防犯カメラ等設置が必要かと思います。」「台風や大雨の時、運営会で動いてもらっていることは活動として助かる部分だと感じます。」「防災、防犯について地球温暖化になり地震・大雨が発生しています。防犯についても何度も泥棒が入りました。」といった意見もある。

3. 役場や町社協からの役職の軽減要望が 17.5%ともある。この項目はこの問いに合っていないが、日頃から健康推進員・福祉協力員の任務や選出に苦勞していただいていることが伺える。役場や町社協の役員選出については、自治会の規模に応じて役職数が決められていて選出をお願いされている例が多い。「区の統合までしなくて良いが役職の兼任。2つ以上の区で、1人で出来る役職は兼任してはどうか。」「役職の統合の具体的な提案し、了承をもらう。」「問1の各種団体・・・各々の活動から1つの団体で2～3の活動へ（西桜谷地区の協議会を参考に改善してください。）」の提案もあり、1村1字から考えると協議の余地もあるかも知れない。また「役場や社協の役職については、役員が当たる方は手間が大変になりますが、福祉について住民の生活が豊かで安全でなければなりません。支え合う力だと思います。役場・社協の職員さんの地域住民への努力不足もあると思います。」との意見もある。

5. 環境保全活動（川掃除、河川愛護、道路愛護、獣害対策、農村環境保全活動など）も安心安全なむらには必要な活動か。「環境保全活動は住民みんなで作るものだと思います。このことをやめるのは村がきたなくなり住めなくなります。」といった意見もある。しかし「環境保全等は外部にお願い（金銭が発生しても）する形をとり、村の人の労働負担を減らせないのか。」「総出（草刈作業）についてですが不参加の場合、不参加の対象になることになっています。週末（土日）出勤をしている場合もあり、参加が難しいことがあります。にもかかわらず不参加の対象というのは疑問をもちます。不参加の対象とならないようにするには仕事を休むということになります。しかしそれは難しい場合もあります。最近では土日に皆が必ず休みという時代ではありません。むしろサービス業や対人関連の仕事ですと、もちろんどの職種にも言えることですが可能な範囲での参加というのが現状になってくるのではないのでしょうか。」といった意見も多く活動には工夫が必要である。

2. 空き家対策については 14.3%ある。問4. にもこの意見が多い。2018年全国の調査で空き家は約850万戸、空き家率は 13.6%と過去最高となっており、実に7戸に1戸が空き家となっていることが発表されている。鎌掛地区では令和4年現在の空き家は22戸、空き地11か所となっている。また、同年に運営会では空き家・空き地所有者に大字経常費徴収依頼時に使用状況や将来の意向調査がなされている。意見としては、「空き家に新しい住民に入ってもらおう。」「空き家に人が入ってもらえるようにしたら良いと思います。（例、リノベーションして賃貸にするなど）」「空き家対策をお願いします。現在、空き家として現状のままにしておくのか？今後賃家とするのか？売家とするのか？空き家のままだと小動物の住み家となり、また雑草群となり景観悪し。一度家主とコンタクトをとり。動向を聞くべし。内仏の処理など。空き家登録。新入居者に対しての地区。隣組との付き合いや経常費等鎌掛として考え方を統一しておく。」「空き家を利用して若い人が入ってこられるように活用してほしい。」「空き家の整備、崩れそうな家は町の補助金で解体する。若者の町・道路の

拡張・空き家に若者を住ませる・美しい町づくり。」「空き家の整備、崩れそうな家は町の補助金で解体する。」「空き家に若者を住ませる・美しい町づくり。」「空き家を運営会主導により各区で利活用できるようにする。悪徳不動産・反社会的勢力が介入してくるととんでもないことになる。」「人口減少対策として空き家を活用し移住者を増やす。」など関心が高いため今後大きな取り組みが必要と思われる。

6. 各区の統合についても 9.2%あり、問4でも多くの意見をいただいた。「今まで通りの6区区割りでは、区内での役職など多すぎ対応が難しい。区割りの見直しが必要。変に区分けするより、大きく鎌掛上、鎌掛下みたいに2つに分類するのも良いのかも？それに伴い、組割も件数見直しが必要では。」「区の再編成（現6区を2～3区に統合）。」「各組の軒数が減少しているので、組の編成をしてはどうでしょうか。」「あまり活動していないものの役などを見直し、取捨して区を統合するなどして、一人あたりの役の負担を軽減すると若い人も参加しやすくなると思います。」「区割りの変更。現状6地区→4地区へ。」「永く懸案の運営会機構は平成中期に改革された。併せて区と組の統合も課題であったが協議に至らなかった。しかし、今後の人家の減少は避けられず本格的な取り組みを要する。現在の区割りは1892年からすでに130年を経た。各区それぞれに特徴があり6区6様である。全住民が意識を変え納得するには時間がかかるであろう。（長年染み込んだカラーを無色に）小学校統合も委員会を立ち上げから3年間を要した。大事は一朝一夕で解決しない。腰を据えた取り組みが必要と思われる。多難が予想されるが特別委員会を設けてより良い統合を望む。」などの意見があり役職の軽減とセットとなっているので今後検討が必要である。

4. 役職等への新たな人材の登用（例、女性、若い人など）は、問2の4.と同様の項目となっている。同じ6.7%と比較的高い数値となっている。

8. 新たな住宅地対策は5.6%となっている。意見としては、「地区計画指定して新たな住宅地造成をして分譲する。」「新たな住宅地を設けてUターン・Iターンしてもらい鎌掛住民として活躍してもらおう。」「住宅地対策をしなければやがて人口は減るのみと思う。」「新しい宅地造成が出来るよう、町に働きかけて新規入居者を迎えられるよう計る。」「市街化調整区域を外し、居住建物を考えればどうか。」「空き家を無くし宅地を整備し若い人を受け入れる。」「新しい宅地造成が出来るよう、町に働きかけて新規入居者を迎えられるよう計る。」「住宅地の確保は人口の流出を止められることかと思ひます。西大路のコスモスラウのような住宅地の造成を希望します。」「鎌掛に住みたい」と言っておられる方があっても家を建てられる場所がない。借りられる空き家がないとあきらめる方を数人見かけました。これから更に空き家が増え人口が減っていくことが心配です。」「子供が近くの私有地（田んぼ）に家を建て、住みたいと思っていたが・・・市街地調整区域とやらで、地目変更、申請に2年要すると役場の回答で断念し、日野町内に新築いたしました。このような事例がほかの人もあるのでは？人口減少を食い止めるためにも、市街化調整区域の制度の抜本的な見直し要望を今後のためにも町に出していただきたい。鎌掛分園保育園があるのだから、若い人が住める、新築できる住宅地の整備。他地域からの移転、転入も推進しては。」「新しい宅地造成が出来るよう、町に働きかけて新規入居者を迎えられるよう計る。」「NHK テレビ {いい いじゅう 火曜日午後0時20分} を参考にして人口増を考えてみてはどう

ですか。」「農地転用から宅地対策」「空地、空き家を有効利用し移住者を募る」「家を建てるにも道幅や場所により審査を通すのが難しいと聞きました。」など関心も高く具体的な提案もあるので検討する必要があるのではないかと。

10. わからないが4.6%もある。問2.の項目にもあるが、同様に役職を経験されていない若い人は、運営会でどんな活動がされているのかわからないのであろう。

問4. いつまでも住みたい住み続けたい村を創り上げるために、今後どんなことが必要だと思いますか。何でも自由にご記入ください。

この問いには沢山のご意見をいただいたので、列記する。

- 比較的簡単な運営会の活動を少しずつ若い人たちに教えていき、若い人に運営会に参加してもらおう。そして、若い人たちが考えた活動を若い人たちが参加したいと思うような活動に変えていけばよいと思う。(18~19歳男)
- 住民たちが集える施設(体育館・カフェなど)を作る。(20歳代男)
- 若い人たちが役職とかをしやすい雰囲気があると。お年寄りの方々の負担も減ると思います。(20歳代女)
- 都市部へ移住する人を減らし、地方に足を運ぶ人を増やしていく必要があります。そのためには、その地域特有の食べ物や観光名所などを多くの人に知ってもらうことが大切です。地域の食材を活かした料理を作ることや観光名所としてアピールすることで多くの人に認知してもらおう。(30歳代男)
- いつでも活動が廃止できるように廃止の手順書の作成を作っておく。維持管理が大変なものは絶対に作らないでほしい。回覧板のデジタル化。行事はやりたい人がやる形に、参加したい人が参加費を払って参加する形に。若者が逃げたくならないよう負担軽減。イーロンマスクの「日本は存在しなくなる」発言は言い過ぎではない。急激な少子化。出生数は7年連続で減少。1949年は約270万人の子どもが生まれました。2022年77万747人となり始めて80万人を割り込みました。平均初婚年齢も上がっています。あと数年あがれば本当に絶滅もありえます。鎌掛は町から距離があり、人口減少でライフラインの維持コストが高くなる可能性も高いです。逃げ切り世代の方には受け入れてもらえないとは思いますが、善処いただくようお願いします。(40歳代男)
- 活動を減らしていくべき。人口増加計画をたてるべき。(40歳代男)
- 同居が難しくなっているので、若い子への役割(消防団など)を止めていけば少しでも同居してもらえるのでは?常会もほぼ参加率が悪く、組長の配布が負担になっているので廃止にしてほしい。(40歳代女)
- 車に乗らないで買い物に行くことができる交通手段があれば良い。(50歳代女)
- 生まれて鎌掛以外に住んだことがないので分からないが、良いところも悪いところもあると思う。若者が住んでくれるように若者の意見を聞いてみてほしい。年配の方々の元気がありすぎるのでは?各家の子どもの育て方で変わるのでは?(50歳代男)
- 私はこの土地で生まれ育ってはいませんので、運営会事業に関してはわからない点

が多くあります。鎌掛が日野町に合併する前は大きな村組織であったことは事実であります。個人的な思いや感じることですが、運営会が会社組織のようなしっかりとしたものになることが、この村が発展することだと思います。村の財産管理をしっかりとして、住んでいる人が誇りを持ち、若い人材が増えることを願っています。また、鎌掛小学校のしっかりとした管理と方向性も重要かと思います。正法寺やしやくなげ溪も同じことが言えます。やはり、人材の育成でしょうね。(60歳代男)

○鎌掛地域の活性化の取り組みは以下の通り。歴史と文化と農業と自然のある鎌掛地域への移住者の呼び掛け・呼び込み。鎌掛地区の良いところ、楽しいところを世界に向けて発信する取り組み。旧鎌掛小学校の保全と活用。旧鎌掛小学校は京都アニメ(中二病でも恋がしたい)で世界のアニメファンの聖地なので保存する価値がある。年に1度でも(京都アニメの)映画祭を開催する。ダリア園のマルシェなど。知恵を出し合って鎌掛地域の活性化に取り組む。(60歳代男)

○鎌掛を良くするのは、今の私にはわかりませんが、将来の私たちがいかに過ごしやすく暮らせるかということかな~と思います。今、色々な組織がありますが、必要な組織とは思いますがもう少し減らしても良いかなと思います。また、わかりづらいところもあります。そして公民館事業などにも女性や子供たちのいろんな意見を取り入れることも必要だと思います。色々なつながりの中で縛りや制限も無くしていくと良いと思います。(60歳代女)

○「むらを良くする会」のむらを何の意識もなく使うことが考えられません。農村・漁村・寒村等固定概念にとらわれた考えや意識にしか思えません。将来的に自分の子ども・孫たちがこの地に生活していくことなど考えられません。この「むら意識」の中にある同調圧力が存在する限り、次の世代が心豊かに前向きに生活していけることが可能であるとは考えられません。「環境保全活動」の名前で、年間を通して動員されている人は年々高齢化し、地球温暖化で熱中症等の危険にさらされている現状に早急に改革しなければ事故が起こってからでは遅いと心配している人は多いと思いますが、そんな意見は無視して何回アンケートをしても無駄ではないでしょうか?(60歳代女)

○役職等は高齢者にとっては大変です。順番だからと足を痛めていても無理に押し付けられて困っています。出来る方健康な方にやってもらえないでしょうか?(60歳代女)

○若い人の結婚活動。(70歳以上男)

○空き家対策をお願いします。現在、空き家に対して家主に対して現状にしておくのか?賃家としておくのか?売家とするのか?現状となれば小動物の住み家になり、また雑草群となり景観悪し。一度家主とコンタクトをとり。動向を聞くべし。内仏の処理など。空き家登録。新入居者に対しての地区。隣組との付き合いや経常費等鎌掛として統一しておく。(70歳以上男)

○大字住民が一人ひとり集落を自分の事として真剣に考えてもらいたい。将来を考えて簡素化していく必要あり。集落だけでなく行政が少子高齢化、過疎化をどのように考えているのか?アドバイス指導をしてほしい。(70歳以上男)

○年々鎌掛人口の減少の中若者も少なくなりできるだけ役職を減らしてほしい。鎌掛

の会長は、すべての長となりその会長は給料制とする、ほかの理事は各部会の長となり運営する。理事も手当制とする。(70歳以上男)

○永く懸案の運営会機構は平成中期に改革された。併せて区と組の統合も課題であったが協議に至らなかった。しかし、今後の人家の減少は避けられず本格的な取り組みを要する。現在の区割りは1892年からすでに130年を経た。各区それぞれに特徴があり6区6様である。全住民が意識を変え納得するには時間がかかるであろう。(長年染み込んだカラーを無色に) 小学校統合も委員会を立ち上げから3年間を要した。大事は一朝一夕で解決しない。腰を据えた取り組みが必要と思われる。多難が予想されるが特別委員会を設けてより良い統合を望む。河川の草刈りは人員配置の見直しを! 砂川の合流点に増員を。(70歳以上男)

○私は約10年前に日野町の農村青年の結婚相談員をしていましたが、地域でもっと真剣に取り組むべきです。出発点はここからです。(70歳以上男)

○運営会費が高すぎる。この近年高齢者が多く年金暮らしなのに、この鎌掛地区は何の対策も考えてくれない。今の世の中、物価高騰やガソリンの値上げで毎日の暮らしがしにくくなった。政府も寄付金を出すなど対策をしようとしてくれます。運営会も何か手立てを考えてください。行事を減らすこと。(70歳以上女)

○買い物ができるばよいと思います。道が暗いところがあるので明るくしてほしい。(70歳以上女)

○村内の活動は運営してほしいけど町との連絡等は有給の若い事務職員を置いてしてもらったらどうか?(70歳以上女)

○住み続けたい。(70歳以上女)

○新たな住宅地を設けてUターン・Iターンしてもらい鎌掛住民として活躍してもらおう。(70歳以上女)

○環境保全等は外部にお願い(金銭が発生しても)する形をとり、村の人の労働負担を減らせないのか。(30歳代男)

○自然豊かで、安心して心穏やかにくらすように。(40歳代男)

○他の地域に比べてイベントが多いように感じます。イベントがある→協力員が必要で、かつ中年層が少ないので何回も役員等が回ってくるといった悪循環になっていると感じます。イベントや役員の縮小等検討していく必要があると思います。私は鎌掛に何年か住んでいなく、帰ってきた身ですが、こんなに色々あるとはわからず、もしわかっていたら、少し考えていたと思います。運営会費が高いなと思います。

(他地区に比べて) 地蔵盆は、区によって様々なやり方で行われていると思いますが、スムーズに出来ている区を参考に、やり方の統一が出来たらなと思います。伝統を残していく為にも、若い方の話を取り入れていった方が良くと思います。時代に合わせて考えていく時期に来たのではないのでしょうか。(40歳代男)

○鎌掛は、住むには自然豊かで、静かで治安も良いので素晴らしいが、通学や買い物などは町まで一足あり、学生や高齢者には不便である。それに加えて過疎化と役や、行事への参加が多いとなれば、なかなか若い人には住んでもらうメリットを感じてもらえない。家を建てるにも道幅や場所により審査を通すのが難しいと聞きました。同じ田舎でも、迫地区は割と若い人が結婚しても迫に住み続けていると聞き、迫地

区では若い人の意見が通りやすかったり、年配者の考えが柔軟なのか、うまく折り合いをつけておられるとしたら、そうした考えを参考にしたり、役の負担を減らす工夫をすべきかと思います。人が住んでいくには最低限のルールや、ある程度の役も必要ですが、それが負担で人が出て行くなれば、元もこもないので、もっと若い人の意見を聞いて、良いアイデアが出ればと思います。地域の方々には、いつも子供たちを見守って頂き、大変ありがたいと思っています。(40歳代女)

○他の地域に比べ、活動が多いと思います。まわりの地域の方に話を聞くと活動自体が省略化、簡素化されているとよく聞きます。伝統も大切な事とは理解していますが、今の時代夫婦共働きが当たり前。女性でも正規職員で頑張っておられる方がたくさんいます。子供たちを取り巻く環境も今と昔では大きく変わっていて、学童、塾、部活・・・休みの日にも何かしらしている子供が多くいます。高齢者は増えていますが、子供は減る一方で増えることは今後今のままでは見込めないとします。いかに若い子達が帰って来やすい、住みやすい環境にするかが今後とても大事になってくると思います。若い世帯の思いをもっと柔軟に聞いてくれ、少しずつ形を変えながら鎌掛らしさを残せていけるといいなと思います。高齢の方々も元気に活躍されていることはとてもいいと思いますが、10年、20年後の事を考えると、もっと若い人達の意見にも耳を傾けてほしいです。(いいやすい環境作りが必要だと思います) (40歳代女)

○様々な募金がありますが、任意のものなのに集めに来られるというのがいかなものかと思います。募金の意思のある方はこちらへといったようにしてみてもどうでしょうか。総出(草刈作業)についてですが不参加の場合、不参加の対象になることになっていますが週末(土日)出勤をしている場合もあり、参加が難しいことがあります。にもかかわらず不参加の対象というのは疑問をもちます。不参加の対象としないようにするには仕事を休むということになります。しかしそれは難しい場合もあります。最近は土日に皆が必ず休みという時代ではありません。むしろサービス業や対人関連の仕事ですと、もちろんだの職種にも言えることですが可能な範囲での参加というのが現状になってくるのではないのでしょうか。役が続けて当たることはありますが(仕事のみならずライフワークバランスがそれぞれの家庭にありますから)役事にまつわる集まりには必ず参加というのはおのずと難しいと思います。協力していきたいとの思いがもちろん前提ですが、続けて当たることはさけないと思います。(40歳代女)

○観光資源は多いので有効に活用していくこと。交通の便が悪いのではやく土山 IC へのアクセス道を整備すること。(50歳代男)

○空き家を利用して若い人が入ってこられるように活用してほしい。(50歳代女)

○常会はコロナ禍に中止しても問題なかったと思うので協議が必要な場合のみ開催し、普段は回覧板で回せばよいと思う。又役職等を減らして負担を軽減し、若い人にも住みやすくした方がよい。(50歳代女)

○負担感のない生活維持が必要だと思います。若い人が残る(残ってもらう)ためにも軽減、削減しなければいけない活動が多々あると思います。「この地域に住んでいきたい」と思う若い世代がいなければ、伝統、文化も継承できません。「おりあ

- いをつける」ことが肝心だと考えます。(50歳代女)
- 公共の団体の留保が多すぎる。(60歳代男)
- 町や社協、農業関係等様々な役職が各区それぞれ均等に当たっている。人数の少ない区は、ほぼすべての方に何らかの役職があたるし、人が少ないから当然いくつもの役職を兼務しなければならない。区を再編し、6つの区があるものを半分の3つの区にするだけでも、そういった役職が半分の人数になるのではないのでしょうか。小手先の改善ではなく思い切った改革が必要ではないのでしょうか。(60歳代男)
- 高齢化していく中で70歳は役員定年ではなく、70歳以上も役員になって地域を皆で支えていけばよいと思います。(60歳代女)
- やはり若者が住みやすい地域をつくること。役が多い。生活だけでも大変なので何とかしなければと思います。きれいな町並み(村)づくり(60歳代女)
- 若い人たちがなぜ地域から出て行くのか。第一は交通アクセスの悪さだと考えられます。ただそれはいかんともしがたいことです。第二は役の負担の大きさだと思います。特に共働き、子育て世代にとっては、重くのしかかっているのではないのでしょうか。役の多さは、負担のことを思うと、子供たちに残ってほしいとは言えないです。豊かな自然環境と、のどかな住みやすい地域であるのに残念です。役(活動)の見直しを早急にすべきだと思います。最低限の活動でいいと思います。若い人たちが役の負担なく、いきいきと暮らせる村づくりをしていくべきだと思います(60歳代女)
- 村の組織を継続していくために、最低減の役職は必要であると思われるが、若い方が住み続けていこうとするには、必要のない役職は辞めていって、費用等も最低限にしていく必要があると思う。徐々に村の独自の活動や行事はなくなっていくと思われるが、絆だけは持ち続けていただきたい。どこの誰、お隣さんはどうされている、助け合いの精神だけは持ち続けていけるように希望する。空き家が今後増えていくため、村の活性化ため、他府県からの移住者を入れることも必要。(60歳代女)
- 新興住宅地では、自治会費は5千円程度が適当と言われ、若い人はそちらへ流れています。鎌掛の高齢化が進む中で、運営会の自治規模も縮小へ舵を切る必要があると考えます。年金生活の中で寺の負担も含め厳しいです。(70歳以上男)
- 運営会でもご努力いただいている土山線の早期の開通の実現。今後空き家が増加すると思われるので、有効的な活用方法の模索と放置を避ける事が重要と考える。人口が減少していく段階で区や組の再編成が必要と思いますが、今からメリット・デメリット、どのような支障があるかを研究しておく必要がある。色々な組織や活動の省力化、見直しをした上で、区の統合を考えていくべきではないか。(70歳以上男)
- 住みやすい地域にするためには、経済的出費は避けられない覚悟が必要かと思われます。(70歳以上男)
- 何か運営会、運営会の感がありますが、住みよいむらをつくる事であり、むら全体で考えてください。

生活改善

①狭い村なのに葬儀等知らない。情報がほしい。

②葬儀についても一般的な方式を検討してほしい（提案です）（70歳以上男）

○問 1.2.3.4 皆同じ内容のものが問われているのでダブった回答にならざるを得ない。村のよさ、引き継ぐべき文化、伝統をどのように後世に残していくか。人口減少の中で状況に応じた組織編成が必要です。（区、組の編成も含めて）運営会組織を特殊化しないこと。（今後なり手が無い）区長連絡協議会的なことも今後考えていくこと。村行政的な組織を解消し、自治会組織に移行していくべきと思う。（70歳以上男）

○空き家の整備、崩れそうな家は町の補助金で解体する。若者の町・道路の拡張・空き家に若者を住ませる・美しい町づくり。（70歳以上男）

○今のような役職の多さと負担金（色々とある）の多さを改革しないと地区から離れる人が多く出る。観光を生かした地域づくり（70歳以上男）

○老人会の名称を変更

1案 子供会（子供に戻って楽しく遊ぼう。将来的には子供たちも加入）

色々な取り決めは全員で一票の重さを年代別に変える。

例えば 1～14才 1票・15～20才 2票

21～65才 3票・65才以上 1票（70歳以上女）

○登りきった先の短い後期高齢者から思うこと。

むつかしい新しいことはわかりませんが、出不精で運動不足がちな老人にとって近くで出来る、グランドゴルフに気兼ねなく入れてもらえることは（成績は悪くて当たり前、気にしない）楽しくうれしい。又出来れば短くちょこちょこ休める小規模なゲートボールの復活もしてほしいくらいです（わからなくてもやってみれば又楽しいと思います。）又区内で続けてくださるサロンに感謝です。近くで気兼ねなく参加できること。何もしなくてもお茶を飲みつつ世間話で元気な顔を見るだけでも気が晴れます。動くことが困難になっても自分のことがどうにかできれば公民館まで送ってもらって弁当（おにぎりかパン位）持ちで行き、昔懐かしい歌等で楽しめる日があったら？寝たきりになりたくないため心掛け（70歳代女）

○家庭に仕事に子供の対応にと、とにかく若い親年代の方々は毎日忙しそうで大変な時代。これが普通の生活となっており、私のような高齢者には自分を振り返って、ただ反省するばかりです。町や地区の役員様はしっかり職を果たして下さっていますが本当にご苦労様だと思います。これからもよろしく願いいたします。（70歳以上女）

○近年の若年層の減少は、鎌掛に限らず日本の山間地域全てに当てはまる事象だと思います。自然環境にも恵まれています、市街化調整区域で各々の田んぼも小さいので農業での収益も上げられません。集約してもさほど大きくならないので農業に将来的な希望は皆無です。若い人たちが生活の場を他に求めて出て行く事も、ある意味必然だと思います。国が小学校を統合した事も原因の一旦で、その当時特に鎌掛なんかは、複式学級でもよかったのでは？と思います。（過去の事を言っても無駄ですが）そして、行事数は削減する方向でぜひ見直すべきで、常会も年に1回総会の

開催が良いと思いますし、いつも配布していただいている常会事項のプリントをもらえば月々の行事等もわかります。もう1点、区内費について、組長が集めて回るお金を区内費から賄えるように金額を見直して1回での徴収が負担になるようなら前期と後期の2回にするとかできませんか？役職等の若い人の登用については、あまり賛成できません。なぜなら、益々若い人たちが住みたがらないのではと思います。立候補してくだされば別ですが・・・。(70歳以上女)

○人口が減っているからこそ、一人一人の繋がりや人を大切に人に優しく過ごしていけることが理想の村(まち)かなと思います。

○伝統・文化を継続するために、子供たちや若者をどんどん巻き込んでほしい。楽しみながら勉強していくことが必要だと思います。

○私は結婚して鎌掛に来ましたが、子供を大事にしてください、人との関わりも素敵だなと感じています。鎌掛、日野町が素敵なまちと感じてくれる人が増えてほしいです。そのために、たくさんの人を巻き込みましょう。巻き込まれることがめんどろと感じる人たちは、どこが面倒なのか把握し、どうすれば良いか改善するところは改善していくべきだと思います。

○台風や大雨の時、運営会で動いてもらっていることは活動として助かる部分だと感じます。まちへの要望をするなど鎌掛をまとめる形があることについては、今後も継続するべきだと思います。(30歳代女)

○できることから実行していくことが大事だと思います。(40歳代男)

○農地転用から宅地対策

○交通インフラの拡充(40歳代男)

○自治を「守り」(継続するもの：祭り・草刈り)

「攻め」(発展させるもの：イベント・移住推進・観光)

に分けそれぞれの対策を考える。(40歳代男)

○あまり活動していないものの役などを見直し、取捨して区を統合するなどして、一人あたりの役の負担を軽減すると若い人も参加しやすくなると思います。(40歳代女)

○面倒くさいと思われることに対してなぜ必要であるかをきちんと説明し、理解を求めないといけない。我々世代に伝わっていないと、次の世代にもつなげない。「わしらやってきた」という言葉が多く聞かれるが、その時代世襲に合わせた考えでその時に合った組織、やり方でないとダメだと思う(50歳代男)

○空地、空き家を有効利用し移住者を募る。若い子が住みやすくなるよう役員をへらす(50歳代女)

○運営会の方から各区に対して、区長は60歳までは回さない様に動きかけてほしい。とにかく若い人の意見が通るようにしてほしい。行事ごとの為に有給などを使って休まなくてはならない。貴重な休みをそれにつかいたくない。字の行事も大切ですが、優先されるのはまず仕事・家庭であり、それからであると思う。この字の10年20年先を本当に考えているのであれば、今の30代~50代の人の意見を聞いてほしい(50歳代男)

○仕事・家庭の事情を優先するべく、地域の活動や役職を早期に軽減廃止してもらい

たい。区長の低年齢化が、区によっては進んでおり会社勤め中に区長が回ってきて
も正直務められない。極端な話し役職が嫌になって引っ越す事にならないように考
える必要があると思う。(50歳代男)

○安全な場所に住みたいと思うと防犯対策のため街灯を増やしてほしい。また、あま
りにも時間を拘束される活動や役職が多いため、皆が自由な時間を確保できるよ
うな村になればと思う。(50歳代男)

○女性部の活動は各区から役員を出すのはそろそろ無理なのでは？鎌掛で何人とい
うようにしたらどうか・・・(50歳代女)

○○○の会など組織が多くてそれにともない役職が多い。そして業務が多い。仕事を
している現役世代にとってとても負担に思う。昔と違い土日出勤、交替勤務など仕
事の体系も変わってきている。その中で貴重な休みは自分達のために使いたいとも
思う。定年後時間に余裕ができた時には村のために動くことはやぶさかではない。
あと、若い世代が定住しないのはなぜか、すでに村を出て行った自分たちの子供に
聞けばいい。残っている世代でたくさんの役職をこなして運営していくのには人数
も少なすぎるし、残っている者が損を見ているようで嫌だ。もっと先のことを見
えて早く改善するなり動いてほしい。(50歳代女)

○今頃になって！感がある。行動をおこして下さったむらをよくする会の皆様には感
謝しています。その時の役職者が良かれと思って行った行動、提案、発言が今にな
って継続者の負担になっている。自主防災会の低年齢化(平日鎌掛に居る人で防災
するのが目的だったのにまだまだいろいろある)みこしの車化するなら花車の改善
とかこどもみこしの廃止。公民館、実行委員会の体制。特別実行委員、館長推薦と
区内から選出した実行委員が外様化しているように感じる。だから実行委員は区内
から選出させないで公民館で選出のみにしてほしい。(50歳代男)

○人口推移、年齢別人口をみてこの先どうなっていくのか不安になるので、少しでも
人口増になるためにはどうすれば良いのでしょうか。(60歳代女)

○具体的には言えないのですが、若い人が住みたいと思うようなまちづくりが必要と
考えます。(70歳以上男)

○人数が少なくなる分役職も少なくする方向へ(70歳以上不明)

○住宅地対策をしなければ、やがて人口は減るのみと思う(70歳以上女)

○小さい葬式、運動会、地藏盆見直し。(70歳以上男)

会長さん立派な活動していただきありがとうございます。お陰様で一住民として安
心して暮らしています。運営会活動は、この地域ではなくてはならない組織と思
います。いつまでも組織活動が続きますように願っています。(70歳以上女)

○皆で分け隔てなく付き合いたい。(70歳以上女)

○生活道路の拡張

鎌掛分園横交差点～東の宮(5区地先、水路に蓋をする)

住民の負担軽減

東の宮、西の宮を統合し宮さんを一つにする

負担金軽減

鎌掛生産森林組合を解散し財産区とする

運営会経常費、区内費、宮さん（維持費）、森林組合、お寺志納金（正法寺）等
住民の負担が多い

区割りの変更

現状6地区➡4地区へ

買い物、通院の足確保（東桜谷地区参考）、デマンドタクシーの採用。

問1の各種団体・・・各々の活動から1つの団体で2～3の活動へ

（西桜谷地区の協議会参考に改善してください。）（70歳以上男）

○①防災、防犯について地球温暖化になり地震・大雨が発生しています。防犯についても何度も泥棒が入りました。③役場や社協の役職については役員が当たる方は手間が大変になりますが福祉について住民の生活が豊かで安全でなければなりません。支えあう力だと思えます。役場社協の職員さんの地域住民への努力不足もあると思えます。⑤環境保全活動は住民みんなで作るものだと思います。このことをやめるのは村がきたなくなり住めなくなります。⑧については新しい住民を迎えることですか？先に⑤について考え、住みよい美しい鎌掛村はこのアンケートの集計ができたらいい答えが出てくると思えます。（70歳以上女）

○住民の負担が少なかったら良いと思えます。（20歳代男）

○古い考えを見直した方がよい。（30歳代男）

○空き家対策、農業を皆で負担し若い人が一緒に出来る営農組織（西明寺では、上手にしているので参考にしてほしい）。米作りの技術、知識の継承を地域ぐるみでしていく必要があると思う。子どもが地域に愛着を持つような活動。（30歳代女）

○住民同士での話し合いも大切だが、全国でのこの様な課題を解決して来た事例を住民が学ぶ必要があると感じます。外部講師やコンサルタントを雇い、具体的に課題をデータ化して分析してはどうか、住民が取り組むべき活動を指示していく必要がある。若年層からの意見を年上の方が真剣に聞いてもらえるには、確固たる根拠と知識が必要だと思います。（30歳代男）

○区割りでの役員数の見直し削減（役員をこなせる人材がいらない）

区の再編成（現6区を2～3区に統合）。お金集めで各家庭への訪問は無くする。

交通立ち番は運転手と目が合うとお辞儀をするので、安全確認が疎かになり危険では？（40歳代男）

○特に重要な案件が無いのであれば、毎月の常会は無くして欲しい。（常会披露事項、案内等で理解出来るのでは）（50歳代女）

○市街化調整区域を外し、居住建物を考えればどうか。（60歳代男）

○若者が住みやすい町に。（60歳代男）

○世帯数、人口減少は当たり前である事を前提とし組織の見直しが必要だと思います。（60歳代男）

○ゴミステーション2、3、4区を一つにまとめれば、ごみ当番の回数が少なくなる。住民が皆で使える宅配の受け取り専用ロッカーを、空き家等を利用して設置してはどうか。7月、12月に行っている古紙回収を止め、常時回収出来るステーションを設置してほしい。公民館は文化的なこと、運営会は設備、地域管理等で業務を分担する（分担は定期的に打ち合わせて調整する）多数で共同購入などのお得なメリ

- ットを鎌掛で行う。(60歳代男)
- 鎌掛だけに限らず、人口の減少は問題ではあるが各家庭にて世代間での別居は当たり前になっているのは現状であり、この事に関しては地域が関与出来ないので解決するのは難しいのではないかと思います、将来において空き家が増えることは間違いなく、空き家に対して移住者を受け入れ、人口を確保する事を考えていってはどうかと思います。(60歳代男)
 - 新しい宅地造成が出来るよう、町に働きかけて新規入居者を迎えられるようする。交通安全委員は交通安全協会からの補助金が無いので、廃止してはと考えます。(60歳代男)
 - 空き家を無くし宅地を整備し若い人を受け入れる。(60歳代女)
 - 各組の軒数が減少しているので、組の編成をしてはどうでしょうか。人口減少に伴い、役員会の数を減らしてほしい。役員は区の境を超えてオール鎌掛にて決めてはどうか。(70歳以上男)
 - NHK テレビ {いい いじゅう 火曜日午後0時20分} を参考に人口増を考えてみてはどうですか。(70歳以上男)
 - 人口減少対策として空き家を活用し移住者を増やす。(70歳代男)
 - 日野町でも有数の観光資源である石楠花・藤寺・鎌掛城跡などを活用し、地区活性化につなげる。(70歳代男)
 - 地域の活性化を守るためにもアンケートの多数の意見だけで判断しないでほしい。(70歳代男)
 - 自分の子を鎌掛から出さない。(70歳代不明)
 - 人口減少・高齢化の中で従来通りの活動は困難であり、見直し(縮小・廃止)は必要です。「むらを良くする会」の取り組みに期待しています。(70歳以上男)
 - 人口減少、高齢化が進むので、その状況に合わせた見直しが必要。(70歳以上男)
 - 鎌掛地区にも老人施設を造ってほしい。老人になってみんなと話せる場所を造ってほしい。会話を通じて認知症予防になればと。介護に地区全体に携われたらと。元気なむら鎌掛にしていこうと思います。家に閉じこもることのない前向きな老後が過ごせることを望みますし協力したいです。(60歳代女)
 - やめることが前提ではなく、不便さや環境を良くすることが大切。日野駅までの交通網の充実。昔からの土・日曜日の催しや行事の見直し。(70歳以上男)
 - 組織の見直しや活動の見直しも必要だが、良くするための方策はほかにも多数あるのではないか。「むらを良くする会」を今後続けていくのなら各年代の人材も入ってもらい意見を出し合いながらの検討が必要ではないのか。農業あつての鎌掛でもあるので農村として村を守り良くする方向性も考えてほしい。(60歳代男)
 - 若い子育て世代が集まる団地やマンションでもいずれ青年期成人期を経て壮年期・老人期を迎える。(多摩ニュータウンや千里ニュータウンも今やオールドタウンです)無理して「活性化」に取り組むと負担感が増し、かえって住みにくい地域となる。それよりも住人の「満足度」の上がる地域とはどういうものかを考えていったほうが良いと思う。あくまで自然体で流れを受け入れる。形あるものはやがてなくなる。何もしないでよいという意味ではありません。人口減少や高齢化は中高

年者の問題ではなく、若者層の将来がかかっている問題であり、中高年者は一步下がって若年者のサポートに回る。(60歳代男)

○車の運転ができなくなった時の交通手段を考えてほしい。(60歳代女)

○一般会社の定年が65歳から70歳になる(一応60歳定年だが延長する人が今後増加するだろう)年金の問題も考えると……。70歳を迎えそれから役職を受けるとなるときついものがある。今はどうすれば良いのか良い案は見つからないが、今後みんなで話し合う必要があるだろう。(60歳代男)

○まず、空き家に新しい住民に入ってもらおう。地区計画指定して新たな住宅地造成をして分譲する。集落の周りはすべて圃場整備がされているので、集落内を地籍測量すれば民々境界ははっきりするので実施したほうが良い。また、地籍測量をすれば空き家の所有者にも出会うこともでき、売買交渉など話し合いができる。結婚活動も運営会や公民館で取り組んでも良いのでは。(60歳代男)

○若い人たちが住みやすいような村づくり。空き家を活用して地元以外から家族ぐるみで移住してもらおう。魅力のある鎌掛を創っていく。(60歳代女)

○役職も人口減少に伴い見直しが必要だと思います。(60歳代女)

○働いていてせっかくの取れた休みも役職があると潰される。奉仕は否定しないが、半強制的なものは好ましくない。最低限必要なものだけでよい、個々がゆとりある時間を持てる村、好きなことがやれる時間が欲しい。(60歳代女)

○5年・10年先を考え、早急に現組織や活動を見直し、アンケートだけに終わらず実行を。最低限必要なものの絞り込み、1年以内に新たな活動をするのなら、今までの活動を減らし増やさない。働き盛りの若い世代に負荷をかけない。1~6区を1~2人の区長にする。補助金につられて安易に町行政に言うことを聞かない。(補助金をもらうために余計な負担が増える)自分の時間が持てる休日が役で埋まってしまわない村にしてほしい。面倒なことを次世代に申し送りしない。コロナで常会、運動会が無かったけど何も困らなかったことから、何も無くても良い。防災は必要。(60歳代男)

○谷口町会議員のように若いリーダーシップのある方が声を上げて下さって、ボランティアを募集されると人が集まっている。強制でないのですべてがスムーズに進んでいると思う。30・40・50歳ぐらいの男女が話をする場所があれば良いのだけれど、消防団などはそれに近い団体かもしれない。公民館やかやの会館にその発案を期待する。鎌掛で区長を1人にできないか?現運営会長を区長にするとか、区長配下の役員を調整して役員の数を減らす。(60歳代男)

○若い人が住んでくれない。アパートが建てられない。役職が多すぎる。防災無線の放送が聞こえない。状態の悪い空き家が近所にあります、壊してもらえない。(60歳代女)

○鎌掛の将来を語る中でいつも出てくる話が過疎化対策で人口増加に向けての夢物語。まずは、現鎌掛住民が生き生き生活している風景、おのずと2世帯・3世代が同居できる、したいと思うような仕組み。(子育て世代・老後の課題)田舎であればこそその逆転の発想はないものか?中途半端な田舎であるため、魅力が薄れる⇒田舎生活であるがどの世代にも不便を感じない生活にする。⇒足となる車対策。気軽

に乗り合い声掛け。せっかく色々なデータを記載していただいているのでアンケート用紙とは別にしておしよった。（60歳代男）

○企業誘致（中小でも構わない）を行って働くとおころを多くする。（50歳代男）

○問1. の質問は地域に住む以上無くてはならないものであるおので、その中身を検討すべきであると思います。若い人にこの質問をしても○をつける人はあまりいないと思います。そもそも私でも運営会が何をしているかわからないです。何でも無くして良いということでもないとおもいますが、これから高齢化して行く中、年寄が集まれるおころを作るとかサービスまでいかなくても安心して過ごせるおころの提供。「鎌掛に住んだら楽しそうや〜」とてもらえるような地域にしていけたら良いと思います。若い人が何でも言える地域にしていけば良い鎌掛になるとおもいます。（50歳代不明）

○人口が減少しているおので役職や出役等がどうしても重複したりするおので、もう少し負担にならないように分散するなどできないおのか？（50歳代男）

○今、人口が680人ですが、いずれ消滅するのにも目に見えています。今、誰が頑張っていますか？その頑張っている人は、679人に知ってもらっていますか？「役職」ではなく固定で良いおので人材（頑張っている人）の固定、洗い出し。（40歳代男）

○空き家をどうにかして活用できないか考える。（40歳代不明）

○人数が減ってきているおので各区の統合が必要だおと思う。（30歳代女）

○役職が多すぎる。空き家に人が入ってもらえるようにしたら良いおと思います。（例、リノベーションして賃貸にするなど）子供が少なくなってきたおので地蔵盆を無くしてほしい。（親に負担がかかるおのため）（30歳代女）

○大雪の時などの対策をしてほしい。（20歳代女）

○飲食店やスーパーなどを増やす。（20歳代男）

○人口を減らさないおこと。（18～19歳女）

○防犯対策が田舎では重視されないけれど今は、田舎も危険なおことが沢山起こります。防犯カメラ等設置が必要かおと思います。（50歳代女）

○これ以上若者が流出しないよう、又この鎌掛に戻りたいおと思えるような魅力ある村になるよう、必要最低限の取り組みで今後新たな組織を期待したいです。住宅地の確保は人口の流出を止められるおことかおと思います。西大路のコスモスラウのような住宅地の造成を希望します。（50歳代女）

○「鎌掛に住みたい」とておられる方があっても家を建てられるおころがない。借りられる空き家がないおとあきらめる方を数人見かけました。これから更に空き家が増え人口が減っていくおことが心配です。子供たちを育てる環境は良いおと思うおのですが、近所に遊ぶ友達がいないおという現状が解決できればおと思います。コロナ以降、近所や区内そして学内の交流が減っている事寂しくお思う反面、楽になってよかつたおと思うおこともあります。（50歳代女）

○若い人が住みたいおと思う地域づくり。（50歳代女）

○ここには住みたくない。（50歳代男）

○町全体としても、交通、道路の整備拡充が必要おと考える。（近隣市町と比べ、当町、

当地域は特に脆弱と考える。) 老人が増え交通難民が増えると考えるので、これらの対策が必要と考える。(50歳代男)

○今まで通りの6区区割りでは、区内での役職など多すぎ対応が難しい。区割りの見直しが必要。変に区分けするより、大きく鎌掛上、鎌掛下みたいに2つに分類するのも良いのかも？それに伴い、組割も件数見直しが必要では。

子供が近くの私有地(田んぼ)に家を建て、住みたいと思っていたが・・・市街地調整区域とやらで、地目変更、申請に2年要すると役場の回答で断念し、日野町内に新築いたしました。このような事例がほかの人もあるのでは？人口減少を食い止めるためにも、市街地調整区域の制度の抜本的な見直し要望を今後のためにも町に出していただきたい。鎌掛分園保育園があるのだから、若い人が住める、新築できる住宅地の整備。他地域からの移転、転入も推進しては。鎌掛は古臭く付き合いが面倒との他所の声も聴いている。役職も多く他を受け入れない体質とか。そのためにも、役職数などは減らさないと鎌掛に来ないと思います。町営バスの終点が公民館前で、6区には来てない。5区6区でも利用者は居るので、東の宮まで延線して欲しい。今後の高齢化に向けても必要である。農業従事者の高齢化、離農が多いので大規模農業法人を鎌掛1つとなって出来ないものでしょうか？高齢者の働き場所となることもあるのでは。日野町の中でも観光資源の多い鎌掛。石楠花溪谷、城山周辺、正法寺、ダリア園、日野菜、旧小学校・・・、通年観光客を呼び込むことに取り組み高齢者の働き場所としても活用しつつ、他から魅力ある鎌掛になれば若者の定着やUターンもあるのでは。SNS活用による宣伝、休耕地での野菜栽培体験などの取り組みなどいろんな方策を検討できると思う。直ぐに若者定着、人口増加は厳しいと思われます。今後の高齢化に向け負担軽減をしつつ、上記の様な魅力ある鎌掛を作りながら地域宣伝、他から鎌掛行ってみたいと言われる様な街づくりを進めてはどうでしょうか。高齢者が過ごしやすい、働ける村にするのが生きがいになって活性化させたいと思います。言うのは簡単で、いざ実行となると担当の苦勞と覚悟は必要かと思います。それを村民が危機感とし、理解協力できる体制づくりが先ずは大切かと思います。今回のアンケート調査も第一歩でもあり良い取り組みかと思います。今後もアンケートを取りながら、各種推進頂けると幸いです。中心となって頂く運営会の皆様には、申し訳ありませんが引き続きよろしく願いいたします。(50歳代男)

○年金生活者では1年間に集めているお金多すぎる、もう少し少なくしてほしい(高い)寄付と言いながら金額が決まっているのがおかしい(500円、1,000円は高い)金額はその人の自由ではないか？役職が多すぎる。集まりも多い。(60歳代男)

○何かにつけて役職が多すぎる。健康推進員や日赤等入る人がいなければ辞めれば良いと思う。(60歳代女)

○組織改革のアンケートだが、又村をよくする会が増えているではないか。アンケートは無駄!!(60歳代男)

○役が多い為鎌掛外に転出される若者達を鎌掛で主力として育て頂く為の産業を創り出す努力。又、お年寄りの方々も働けるような地域への変革。現在は自分の時

間を持たなくて役員の仕事に追い回されている感がすごくてストレスが溜まっている。何とかしてほしい。暇そうだけで役が回ってきている感が強い。何とかしてほしい。(60歳代男)

○鎌掛が好き人はこれからも住み続けて、街に出てもっと利便性の良くて休日は自分のやりたいことや自由を求める人は、他で住む。それは時代の流れというか自分自身のたった一度の人生なので、今色々考えておられることは心中察しますが、あれこれ考えてもどうしようもないので、ありのまま深く考えずにありのままに暮らすことが一番だと思います。とにかく、しがらみは極力少なく生きたいです。よろしくお願いします。勝手ながら老後は経済的に大変で退職金や貯蓄も少なく、働ける限り頑張らなければならず、まず自分の生活第一で村の協力も大切なことは理解しますが生きることが第一です。(60歳代男)

○鎌掛運営会の解体！日野町の字には、運営会みたいな組織がある字は無い？又は少ない。字を組織化するから住みにくい。各町内会だけで充分。(70歳以上男)

○運営会費が高い。役員の種類が多すぎる。若い人は役員になるので皆出て行っている。村の改修が順番で行われているが、今必要なところ雨が降れば、河川の氾濫で起こりうることを早急にすることをしてください。(農道の舗装は今行わなければいけないことではない。)常会の廃止をする。(必要な時だけ集まってもらう。配り物は組長に)(70歳以上男)

○各種の経常費の見直しにより、豊かな生活と村づくりが必要。(70歳以上男)

○当面の課題として老人が増え通院・買い物等の困難者が多いと思われるので、これの対策。老人世帯が増えてきているので現在組長さんが集金を担当している部分(正法寺、神社、社協、体育、教育、募金等)を減らす様に考える必要がある。(例、大字経常費及び区内費に含めるとかで回数を減らす等)(70歳以上男)

※次に、問1. 25の項、問2. 各項の具体的な意見、また問3. 11その他の意見を掲載する。

問1. 25番の意見集約

○わからない(20歳代)

○地区社協(70歳以上)

○活動の詳細が解らない(40歳代)

○全て必要ですが活動を限定する(60歳代)

○自治会組織の再編成(70歳以上)

○活動内容が良く分からないものが多く選べない(30歳代)

○知性的、社会性(70歳以上)

問2. の意見集約

1. についての意見

- 区割りは戸数・人数を平均化。(40歳代)
- 役職の整理少数化及び廃止。(50歳代)
- 役職の廃止。活動の一部有志化。(60歳代)
- 組長の見直し。組の見直し。活動の一部有志化。一部の人への集中を廃止。新体制に。(70歳以上)
- 役職が多く必要最低限まで減らしてほしい(20歳代)
- 高齢化が進み独居の方が組でも増えているように思う(40歳代)
- 役が立て続けに当たることへの改善必要(40歳代)
- 色々な組織の人数の見直し(50歳代)
- 役職の廃止・組の見直し(50歳代)
- 区の再編(6区あるのを区2つに合併して3区にする等)(60歳代)
- 隣組は10軒以上に(70歳以上)
- 隣組の軒数が減少すれば、自ずと統合せざるを得なくなる(70歳以上)
- 補助金付き組織の廃止活動(70歳以上)
- 組織改革で役の統合廃止(区の統合・鎌掛地区の日野への統合)(70歳以上)
- 区、組、の見直し(40歳代)
- 外から見て何をしているのかよくわからない会がある。役が多すぎる。役職の兼務が多すぎ。(50歳代)
- 役職を大幅に減らす。組の見直し。(70歳以上)
- 区ごとの選出→地区で一人に出来る役職は見直す(50歳代)
- 組単位の平均化(10軒位)・役職の少数化・区の統合・活動の一部有志化・役職の整理、廃止(60歳代)
- 活動の一部有志化(40歳代)
- 組の見直し、役職が多い、する人に偏りあり。〇〇祭などに部長とかの名称でリーダー役はもういらぬ。区割りを見直して区を1~2にする。(60歳代)
- 組の見直し、下水道の廃止(70歳以上)
- 役職が多すぎる(50歳代)
- 役職の廃止(60歳代)
- 役職廃止。・組の戸数が減ってきたので掃除等大変になって来た。・区の統合。・老人世帯が増えるので組単位を10軒程度に改め組長の業務を減らす対策が必要(70歳以上)

2. についての意見

- 河川愛護は廃止。(40歳代)
- 高齢化に伴いできるもの無くすものなど整理する。(50歳代)
- スポーツ大会あまり人が集まらないので廃止。他の自治会との比較。昔の活動は見直し廃止。(70歳以上)
- 活動内容の軽減廃止(40歳代)
- 活動内容の軽減、廃止(60歳代)
- 人権啓発、敬老会廃止(70歳以上)
- 堤防の草刈りの有志化(補助金プラス住民が一部負担して賃金を支払う)(70歳以上)

歳以上)

- 通例の行事を無くして、高齢者に適した活動にする) (70歳以上)
- 女性会の廃止 (40歳代)
- 運営会で決まった事は通達のみでよい。説明・決議が必要な場合のみ集会。ダラダラはならない。農業・林業等の組合を運営会から独立。下水道組合はならない。堤防草刈りなど有志で作業出来ることはして手当てを出すなどした方がよい。(50歳代)
- 各種活動内容の軽減。(70歳以上)
- 前例にとらわれず、真に必要な不可欠なものに取り組む・消防団、運動会の廃止 (60歳代)
- 関白会の大量路上迷惑駐車 (30歳代)
- 活動内容の廃止 (40歳代)
- 田のあぜ草刈り等できない場合がある。全ての団体において前任者の追隨をしているのでは変わらない。(60歳代)
- 会所・神社清掃の軽減 (70歳以上)
- 活動軽減 (50歳代)
- 活動内容の廃止<交通立ち番、女性会、老人会、運動会>・活動内容は素晴らしいが今後の継続を考えるともっと縮小して自治体に任せる事が賢明 (60歳代)
- 活動内容の廃止。・若い人等が減ってきたのでこのままでは無理だと思う。・公民館の役員廃止。・役職が多すぎる減らすべきである。(70歳以上)

3. についての意見

- 常会は年1~2回で良い。メールを活用する。(40歳代)
- 常会の廃止。常会回数の軽減。メールなどの活用。必要な時だけ常会を開催。(50歳代)
- 常会の廃止。常会回数の軽減。(60歳代)
- 毎月の常会は必要なし。紙を配布するだけで良い。常会の廃止。町老連への加入は廃止。村内老人会は残す。公民館活動の省力化。(70歳以上)
- 常会がいるのか (30歳代)
- 常会の軽減・常会の削減 (40歳代)
- 常会の回数を減らす・常会の削減 (50歳代)
- 回数、活動の統合 (60歳代)
- 集まる必要がある時のみ区長さんが招集すればいいのでは (60歳代)
- 常会はなくてもよい・3ヶ月に1回の常会にする (70歳以上)
- 常会の半減 (70歳以上)
- 文章だけで十分であり3ヶ月に1度程度 (70歳以上)
- 常会は見守り(安否確認)の一環と考えます (70歳以上)
- 常会の削減 (40歳代)
- 非農家に農組の話しはならない。常会回数削減。字常会は集金のためであったものなので残していく必要が無い。(50歳代)
- 常会などの回数を減らす。(70歳以上)

- 毎月が多過ぎる（30歳代）
- 基本2ヶ月1回で必要な時期を設定する（50歳代）
- 常会は必要に応じて行う・半期に一度常会開催（60歳代）
- 大字、字常会は毎月ではなく必要に応じて行う（70歳以上）
- 常会回数の軽減（40歳代）
- 常会回数の軽減（50歳代）
- 常会を毎月する必要がない。常会は毎月から四半期単位または各区に任せる。シーズンに1回の常会にして質問や要望は文書でする窓口を作る。（60歳代）
- 常会は必要な時だけ、常会の軽減・廃止（70歳以上）
- ペーパーレス配布物、メールで良い。十分（40歳代）
- 各区常会を必要都度開催する様改める必要あり・常会削減（50歳代）
- 常会の廃止。・常会は要らない。・常会は時代錯誤、いい加減にやめるべき（60歳代）
- 常会の廃止。・常会は毎月必要ですか？・常会必ず出席する事。・大字常会の廃止。・各区常会を必要都度区長が招集する。毎月の定期開催は不要と考える（70歳以上）

4. についての意見

- 女性の登用。（40歳代）
- 女性の登用（70歳以上）
- 女性の活用は大切な事（70歳以上）
- 女性採用。（70歳以上）
- 女性の登用（50歳代）
- 女性の登用（60歳代）
- 女性の活用（70歳以上）
- 若い人の登用（60歳代）
- 女性・若い人の登用（70歳以上）

5. についての意見

- 他の字に比べ運営会費は若い世代には高すぎると思う。物価高等もあると思いますが（40歳代）
- 大字経常費の留保の減少を（60歳代）
- 今の収入ありきの考えは、改める事（70歳以上）
- 高齢者だけの家庭の軽減はよく見えるが若者を出してしまっている家庭であり人口を減らしている家庭である事を認識してほしい。経常費・森林組合のお金等同じ時に支払いはきついので時期を変えてください。森林組合のお金支払うのは何故なんでしょうか。（50歳代）
- 経常費は出来ればもう少し下げてほしい。それ以外も。（70歳以上）
- 現状以上に上がる事の無い様努力を望む（70歳以上）
- 是非取り組んでいただきたい（60歳代）
- 現状で可（70歳以上）

8. についての意見

- 全国2140名の調査で毎月の自治会費は「1～300円」が最多。(40歳代)
- 鎌掛の総人口や若者の減少を考え、簡素化しないと若者が減る一方(70歳以上)

問3. の11番の意見集約

- 村民の負担軽減。若者が逃げたくならないように(40歳代)
- ダリア園の運営をしてほしい(70歳以上)
- 空き家を運営会主導により各区で利活用できるようにする。悪徳不動産・反社会的勢力が介入してくるととんでもないことになる。(50歳代)
- 統合までしなくて良いが役職の兼任。2つ以上の区で、1人で出来る役職は兼任。(50歳代)
- 住民負担軽減・事業統合による負担軽減。(70歳以上)
- 自主防災組織の活動・防犯灯の設置(50歳代)
- 役職の統合の具体的な提案し了承をもらう(50歳代)
- 現に必要な最低限に近い活動と思う(60歳代)
- 区の統合は町補助金の減になる。地域の活性化に取り組む(70歳以上)
- 川掃除、河川愛護は見直しが必要(70歳以上)
- 正法寺の下の池を昔の様に美しくきれいにしてください。色々な魚がいた。防火用水でもあった。(70歳以上)

以上

『むらを良くする会』メンバー(令和3・4年度区長)

会長	竹村達幸	(第4区)
副会長	野崎宗久	(第3区)
	奥村芳泰	(第1区)
	奥村利一	(第2区)
	平尾義明	(第5区)
	竹村憲司	(第6区)



live a happy life
幸せな生活を送りましょう

皆さん、ご協力ありがとうございました

